



さとう・えいいち

昭和36年生まれ。明治大学法学部法律学科卒業。昭和61年3月から平成16年11月まで北関東観光開発(株)代表取締役。平成9年、(社)宇都宮青年会議所理事長就任。平成12年、(社)日本青年会議所副会頭就任。ほかに、宇都宮商工会議所青年部会長などを務める。平成16年11月28日から宇都宮市長(3期目)。

政治、経済、社会とすべてが大きく揺らぎ続けた昨年でしたが、一方で宇都宮には明るい話題もたくさんありました。佐藤栄一・宇都宮市長と、北村光弘・宇都宮商工会議所会頭に、これからの宇都宮がどうあるべきか、熱く語り合っていました。

「行政サービス充実のためには、収入アップの努力が不可欠」

(佐藤市長)

北村 市長、明けましておめでとうございます。

佐藤 おめでとうございます。

北村 佐藤市長は昨年の市長選挙で三選を果たされました。改めましておめでとうございます。3期目ということで、宇都宮の活性化に向けていよいよ腕を振るわれると思うのですが、こういう時代ですので難問も山積みだと思います。市長のリーダーシップに、大いに期待しています。

佐藤 ありがとうございます。北村会頭も、昨年は春の旭日小綬章を受章されました。おめでとうございます。長年の経済人、社会人としての、さまざまな貢献の賜物だと思います。いろいろご苦労もあつたと思いますが、これからも地域経済のために、ぜひお力添えをお願いします。

◎特集  
春  
新対  
企業支援、スポーツ支援、都市機能整備…宇都宮が変わる！  
都市の魅力アップで、全国への発信力を！

宇都宮市長

宇都宮商工会議所会頭

# 佐藤栄一 × 北村光弘

北村 ありがとうございます。

さて、昨年は日本だけでなく、世界中が大きな経済混乱に見舞われました。ヨーロッパのユーロ危機に代表されるグローバルな経済危機が、日本経済や栃木県経済にも多大な影響をもたらし、それは今も続いています。その中で、地元経済をどう安定させるかが、最大の課題だと思います。

また若年層の雇用問題は、昨年も多く、11月の段階で約20万人もの未就職学生がいると内閣府が推計しています。最初の段階で就職できないと、その後の就職活動も難しくなり、長期にわたって失

業状態が継続しかねない。それが社会不安にもつながっていく懸念があります。

佐藤 私は、行政サービスを増やす努力をするためには、行政が収入を増やす努力をすることが不可欠だと考えています。そのポイントには、市内に集積する企業に対して、いかに支援していくかということでしょう。企業活動を支援し、発展する手助けをすることが、就職支援にもつながり、市の収入アップにもなっています。

市は企業集積に対する補助を行なってきましたが、これは新しい企業の誘致だけでなく、今がんばっている企業にも、設備投資などを支援できる制度としています。たとえば市では、昨年4月から、制度融

資の一つとして「耐震・免震・制震対策資金」を始めました。こうした、中小零細企業を支える施策をいくつも行なっていますし、今後もニーズを把握して実施していきたいと考えています。

「高齢社会における地方都市のあり方を、宇都宮が示さなくては」

(北村会頭)

北村 これからは高齢社会。働ける人は働かなければ、労働力も絶対不足しますし、社会保障や社会福祉がもたないのではないかと思います。

佐藤 企業の定年延長も今後は進むでしょう。行政も環境づくりを進めています。

また、リタイアされた後に社会貢献をしていきたい方に、利便を図ることも重要です。市の「みやシア活動センター」では、定年後のセカンドライフをきめ細かく支援していますが、おかげさまで利用される方も大変増えていきます。積極的に社会の一員としてがんばりたいと考える高齢者は、たくさんいらっしゃるのです。その方々の経験や知恵を、地域社会に活かすお手伝いをするのも、行政の役割だと考えています。

また高齢者雇用対策として、雇用する企業に対する補助金制度も充実させてきました。

北村 宇都宮市は、全国的にもまだ恵まれた状態にあると考えています。ですから高齢社会における地方都市のあり方を宇都宮が示し、課題を解決しなければ、他の都市や地域も成功が難しいのではないかと思います。そうはいっても、社会保障費の増大などは、なかなか難しい問題ですね。

佐藤 社会保障費の増大や給付については、現状では国レベルの「その場、その場」の対応が目立つように感じます。

まずは負担と受給のバランスを考えて、突出した部分を減らすなど、さまざまな努力が必要でしょう。それでも足りない部分は、いかに行政が設けるかで対応するべきだと考えています。



きたむら・みつひろ

昭和17年生まれ。慶応義塾大学法学部法律学科卒業後、(株)横倉本店に入社。平成12年から同社代表取締役会長を務める。平成19年から宇都宮商工会議所副会頭を務め、平成22年11月に第18代会頭に就任。ほかに公正取引委員会独占禁止政策協力委員、宇都宮卸商業団地(協)副理事長など多数務める。





多くの方が音楽に酔いしれた  
「MIYA JAZZ INN 2012」(オリオンスクエア)

### 「企業集積には、 都市機能の充実が不可欠です」

(北村会頭)

**北村** 十年後、二十年后に宇都宮に住んでいる人たちが、生きがいのある生活ができるように、今できる社会インフラ整備や制度改革などについては、勇気をもって取り組んでいただきたいと思っています。

**佐藤** 会頭と、JRに「宇都宮に停まる新幹線の本数を増やしてください」とお願いに行きましたよね。JRとすれば速達性を高めるために停車駅はなるべく減らしたいでしょうから、「宇都宮は不要」と考えれば、停車本数を減らされてしまいます。だから「不要」にならないために、がんばらなければいけないでしょう。「東京―仙台」ではなく「東京―宇都宮―仙台」とならなくては。目指すべきは、現在もこれからも選ばれるまちです。

そのためには、公共交通の充実が必要です。宇都宮市はそれを身の丈の中でやる

なが必要です。また子どもたちへの教育効果も絶大です。身近なところから出るヒーローの活躍は、大きな励みですよ。「本物を知る」「夢を持つ」大切さを教えたいと思います。

**北村** 宇都宮ブリックスも日本一になりました。ヒーローの出る土壌づくりも、佐藤市長は積極的にやっておられます。

**佐藤** リンク栃木ブルックスも数年前に日本一を経験していますね。あとは栃木SCだけ(笑)。

**北村** リンク栃木ブルックスも宇都宮ブリックスも、現場で観ると大変な迫力です。クリテリウムはイベントとしても大成功でした。佐藤 成功すると、他の都市も手を上げるようになります。せつかく定着したクリテリウムを今後も宇都宮で実施するためにも、都市の魅力アップに努めなくてはいいかなと思っています。

**北村** スポーツ以外にも、さまざまなイベントが開催されています。特に中心市街



服飾雑貨や海産物、飲食ブースでにぎわった  
「宮の市(商業祭)」(パノパ通り)

うとしていますが、仙台市はそれ以上の大がかりな整備を進めて来ており、大きな設備投資で大きなリターンを得ようとしているわけです。

宇都宮は身の丈でがんばって公共交通を確立していかなくてはならない。そうやって魅力を高める材料をいかに生み出すかが重要だと考えています。

**北村** 教育の充実も大切ですね。佐藤 もちろん、人材の育成は重要です。と同時に、育成された人材が就職できる仕組みも、きちんと整備しなければいけません。

**北村** 交流人口のアップは、商工会議所も取り組んでいる課題です。

**佐藤** 今ある観光資源をより生かしていくことや、イベントの充実などによって、宇都宮のファンを増やすことに取り組んでいます。それに加えて再開発事業などによ

る都市機能アップを行い、定住と交流の双方の人口を増やしていきたいと思っています。

**北村** 市長が唱えておられる「ネットワー型コンパクトシティ」も、魅力的な都市づくりの一つですね。

**佐藤** 鍵となる地域内交通、および地域間を結ぶ公共交通の充実を今後も図って行きたいと思っています。生活者にも優しく、企業への通勤にも便利な環境を創りたいと考えています。

**北村** 大企業が宇都宮に進出する、または今いる大企業の流出を防ぐには、企業の流通に便利だけでなく、従業員が働きやすい環境も必要です。

**佐藤** 高齢社会になって、自動車から公共交通へのシフトが必然的に求められますから、人に優しい地域社会にとっても、有効です。

**北村** 80歳を超えると運転はきついですよ



### 「よりよい宇都宮を実現するために、 力を合わせましょう」

(北村会頭)

地は、そのおかげでずいぶん活気を取り戻しました。その中では、ボランティアの活躍が目立ちました。本当に、頭の下がるくらい一生懸命やってくれています。特に高齢者のがんばる姿が多いと感じています。

**佐藤** それでもまだ「中心市街地はダメだ、寂れている」と言う人が多いんです。11月の宮の市(商業祭)・ミヤジャズイン・餃子祭りでは、前が見えなくらい人が押し寄せているのに、です。

**北村** あの時は、人が面になって中心市街地を埋めているようにさえ感じました。

**佐藤** 「ダメだ」という人は、ぜひ自分で街中に出て、「変わった!」と実感していただきたいですね。平日の通行量だって確実に増えていると思います。否定したり傍観したりしないで、一緒になって盛り上げてほしいのです。



餃子を求め長蛇の列を作った  
「宇都宮餃子祭り2012」(宇都宮城址公園)

(笑)。公共交通整備は今後のまちづくりの重要なキーワードです。高齢者が外出することで健康増進にもなり、医療費削減などにも効果があると思います。

### 「寂れている、ダメだという人は、 街中に出て活気を体感してほしい」

(佐藤市長)

**佐藤** スポーツにおいては非常にすばらしい活躍をされた方が、昨年はたくさんいらっしゃいましたね。

**北村** なでしこジャパンの安藤梢選手、鮫島彩選手、水泳の萩野公介選手など、続出しました。

**佐藤** 宇都宮市民にとっての励みになりましたし、暗い世相の中で大きな明るい材料だったと思います。

**北村** 今後、それに続く人材の育成も、大切でしょう。

**佐藤** 宇都宮の発信力を高めることにもつためにも重要だと思います。われわれとしても、全力をあげて対応させていただきましたと思います。

**北村** ありがとうございます。佐藤市長は三期目を迎え、今年さらさらに充実して市政に取り組んでいかれるでしょうね。

**佐藤** これまでの8年間で築いた土台の上に、いかにさまざまなものを、先手を打ちながら構築していくか、努力していきます。宇都宮を単なる一地方都市として埋没させないこと、企業がこれからは生産や研究開発に力を注ぐことのできる仕組みづくり、安全安心のまちづくりをしたいと思っています。徹底して日本一のまちをめざします。

とにかく身の丈の中で、徹底した改革を進めて行きたいと思っています。これからもぜひお力添えをお願いします。

**北村** こちらこそ、よろしく申し上げます。宇都宮をよりよい都市にするために、行政と経済界が力を合わせて行きましよう。



昨年11月に3周年を迎えた  
「宇都宮アンテナショップ 宮カフェ」